

東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所  
2019年度 パフォーマンス向上会議情報(2020年2月12日(水)分)

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2020年2月12日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード	発見日
1	<p>【2号機 原子炉建屋大物搬入口2階の片付け作業における顔面汚染について】 2号機 原子炉建屋大物搬入口2階において、仮置品の片付け作業を行っていた協力企業作業員が、免震重要棟にて作業後の汚染検査を行ったところ、鼻および口廻りに放射性物質の付着を確認。そのため、入退域管理棟において鼻の中について汚染検査をしたところ、900cpmを検出。除染を実施し、退出基準(4Bq/cm<sup>2</sup>(約600cpm))を下回ったことから、入退域管理棟から退域。その後、ホールボディカウンタによる測定の結果、内部被ばく線量は記録レベル(2mSv)未満であった。今後、原因を調査し、再発防止対策を検討。</p>	G I	2月6日
2	<p>【5号機 サービス建屋主排風機(A)のVベルトゆるみについて】 5号機 サービス建屋主排風機(A)の点検において、Vベルトのゆるみを確認。主排風機を(A)から(B)へ切替を実施。今後、当該Vベルトを交換予定。</p>	G III	2月7日
3	<p>【地下水バイパス揚水井(C)制御盤の盤内冷却器の不具合について】 地下水バイパス揚水井(C)制御盤の「盤内温度異常」警報発生を確認。現場確認の結果、盤内冷却器の動作確認を行ったところ、正常に動作しなかったため当該冷却器の動作不良と推定。なお、地下水バイパスシステムの運転に影響はない。今後、当該冷却器を点検・修理予定。</p>	G III	2月6日
4	<p>【地下水バイパス揚水井(A)制御盤の盤内冷却器の不具合について】 地下水バイパス揚水井(A)制御盤の「盤内温度異常」警報発生を確認。現場確認の結果、盤内冷却器の動作確認を行ったところ、正常に動作しなかったため当該冷却器の動作不良と推定。なお、地下水バイパスシステムの運転に影響はない。今後、当該冷却器を点検・修理予定。</p>	G III	2月6日
5	<p>【6号機 非常用ディーゼル発電機(B)の凍結防止用分電盤の漏電しゃ断器動作について】 6号機 非常用ディーゼル発電機(B)の凍結防止用分電盤の漏電しゃ断器動作を確認。当該回路の絶縁抵抗の低下が考えられることから、今後、回路の調査を実施し、不具合箇所の特定・修理を実施予定。</p>	G III	2月7日